



## 平成31年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年9月14日

上場会社名 株式会社エニグモ

上場取引所 東

コード番号 3665

URL <http://www.enigmo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 最高経営責任者

(氏名) 須田 将啓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレートオペレーション本部長

(氏名) 金田 洋一

TEL (03) 6894-3665

四半期報告書提出予定日 平成30年9月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年1月期第2四半期の業績 (平成30年2月1日～平成30年7月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年1月期第2四半期	2,290	—	938	—	938	—	651	—
30年1月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年1月期第2四半期	31.28	—
30年1月期第2四半期	—	—

(注) 1. 当社は、平成30年1月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成30年1月期第2四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年1月期第2四半期	5,768	4,628	80.2
30年1月期	4,688	3,974	84.8

(参考) 自己資本 31年1月期第2四半期 4,628百万円 30年1月期 3,974百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年1月期	—	0.00	—	—	—
31年1月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年1月期の業績予想 (平成30年2月1日～平成31年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,784	12.2	1,745	2.1	1,745	1.7	1,205	83.8	57.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年1月期2Q	21,321,000株	30年1月期	21,321,000株
② 期末自己株式数	31年1月期2Q	500,000株	30年1月期	500,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年1月期2Q	20,821,000株	30年1月期2Q	20,821,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は「世界が変わる流れをつくる。」というミッションの下、インターネットを通じて、一般消費者が持つ個々の才能をネットワークし、今まで存在しなかった新しい価値を創造し、世界をよりよく変えることを目的として、ソーシャル・ショッピング・サイト「BUYMA（バイマ）」を中心とした事業を展開しております。

当第2四半期累計期間（平成30年2月1日～平成30年7月31日）における我が国経済は、企業の設備投資や輸出の増加、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費が低調ながら持ち直しの動きを見せ、景気が緩やかに回復してきている一方で、米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦激化への懸念やEU離脱問題をはじめとする海外の政治情勢の不安定さに起因する為替変動などの外部環境の不透明さから、依然として先行きが予測し難い状況が続いております。

国内の個人消費においては、引き続き選別消費傾向が鮮明になりつつある中で、ファッションEC市場におきましては、小売店やブランド等の事業者側によるオムニチャネル化やファッション系スマートフォンアプリの増加等を背景に、順調に拡大を続けております。

このような環境のなか、当社は、当社の基幹事業であるソーシャル・ショッピング・サイト「BUYMA（バイマ）」において、新マーケティングミックスによる、「会員数向上」から「アクティブ数向上」への効率的な連携と、「取扱件数向上」関連施策を短期サイクルで展開することで取扱高の継続的な拡大を進めております。また、機能面においてもSNSの活用等によるアプリ訴求施策及び、新規決済サービスの導入のほか、ほしいもの登録機能のリニューアル、下取り即時割引サービス「ソク割り」のリリース等、各種周辺サービス・機能の運用強化を加速し、一層安全かつ手軽にBUYMAでショッピングをお楽しみいただけるよう積極的にサービスの拡充を進めてきております。

当第2四半期累計期間におきましては、新規会員獲得が堅調に推移したことに加え、新規ユーザーおよび既存会員のアクティブ化およびコンバージョン向上のため、ターゲット別のセールへの取り組み、オウンドメディアによる購買意欲の喚起、SNSを活用したアプリ訴求など、各サービス・機能の拡充を図る各種施策を展開しました。また、パーソナルショッパー（出品者）との密な連携により国内トレンドにもリアルタイムで豊富な品揃えを実現し、ターゲット別の特集やセールを効果的に実施することで、レディースカテゴリだけでなく、メンズ、ベビーキッズ、ビューティ、ホーム等各カテゴリで成長を加速させております。加えて、平成30年7月31日より「BUYMA TRAVEL（バイマトラベル）」サービスの提供を開始し、今後は従来のファッションアイテムだけでなく、世界145カ国に在住する11万人超のパーソナルショッパーから、海外旅行者へ“現地ならではの体験”の提供も実現してまいります。

以上の結果、会員数は5,504,196人（前年同四半期比23.6%増）、商品総取扱高は19,644百万円（前年同四半期比17.8%増）、と順調に拡大し、当第2四半期累計期間における当社の売上高は2,290,687千円、営業利益は938,838千円、経常利益は938,945千円、四半期純利益651,286千円となりました。

なお、当社は前期に実施した子会社の全株式の譲渡及び解散に伴い、第1四半期累計期間より四半期財務諸表を作成していることから、前年同四半期との比較は行っておりません。また、当社の事業セグメントはソーシャルコマース事業の単一セグメントでありますので、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産合計)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末より1,079,424千円増加し、5,768,031千円となりました。主な内訳は、現金及び預金5,081,178千円であります。

(負債合計)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末より425,775千円増加し、1,139,584千円となりました。主な内訳は、預り金549,396千円であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末より653,649千円増加し、4,628,447千円となりました。主な内訳は、資本金381,903千円、資本剰余金391,474千円、利益剰余金4,268,971千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末より1,224,953千円増加し、5,081,178千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動により獲得した資金は1,230,563千円となりました。

この主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益938,945千円等によるものであり、また、減少要因は、未払金の減少14,945千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動により使用した資金は6,297千円となりました。

これは有形固定資産の取得による支出5,111千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の増減はありません（前年同期間も同様）。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年1月期業績予想につきましては、平成30年3月15日の「平成30年1月期 決算短信」で公表いたしました業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年1月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,856,224	5,081,178
売掛金	201,788	179,261
前渡金	410,908	301,012
前払費用	17,392	16,754
未収入金	187,291	186,895
繰延税金資産	13,104	30,819
未収還付法人税等	41,255	-
その他	230	2,863
貸倒引当金	△185,582	△175,843
流動資産合計	4,542,612	5,622,941
固定資産		
有形固定資産		
建物	49,292	48,385
工具、器具及び備品	18,854	19,359
有形固定資産合計	68,146	67,745
無形固定資産		
ソフトウェア	9,581	9,065
その他	18	18
無形固定資産合計	9,599	9,084
投資その他の資産		
投資有価証券	575	575
関係会社株式	105	105
繰延税金資産	8,816	8,829
敷金及び保証金	58,751	58,751
投資その他の資産合計	68,248	68,261
固定資産合計	145,994	145,090
資産合計	4,688,607	5,768,031
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	162,564	147,619
未払費用	16,546	12,323
未払法人税等	-	324,203
未払消費税等	33,977	35,778
預り金	427,370	549,396
ポイント引当金	52,646	47,721
その他	5,279	7,035
流動負債合計	698,385	1,124,078
固定負債		
資産除去債務	15,423	15,505
固定負債合計	15,423	15,505
負債合計	713,808	1,139,584

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年1月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,903	381,903
資本剰余金		
資本準備金	321,103	321,103
その他資本剰余金	70,371	70,371
資本剰余金合計	391,474	391,474
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	3,617,685	4,268,971
利益剰余金合計	3,617,685	4,268,971
自己株式	△415,380	△415,380
株主資本合計	3,975,682	4,626,969
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△1,181	1,180
評価・換算差額等合計	△1,181	1,180
新株予約権	297	297
純資産合計	3,974,798	4,628,447
負債純資産合計	4,688,607	5,768,031

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年7月31日)
売上高	2,290,687
売上原価	395,329
売上総利益	1,895,357
販売費及び一般管理費	956,519
営業利益	938,838
営業外収益	
受取利息	73
還付加算金	404
雑収入	9
営業外収益合計	488
営業外費用	
為替差損	380
営業外費用合計	380
経常利益	938,945
税引前四半期純利益	938,945
法人税、住民税及び事業税	306,435
法人税等調整額	△18,776
法人税等合計	287,658
四半期純利益	651,286



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成30年2月1日 至 平成30年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	938,945
減価償却費	7,214
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,738
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△4,925
受取利息及び受取配当金	△73
為替差損益(△は益)	△140
売上債権の増減額(△は増加)	22,527
たな卸資産の増減額(△は増加)	230
未払金の増減額(△は減少)	△14,945
預り金の増減額(△は減少)	122,025
その他	127,861
小計	1,188,981
利息及び配当金の受取額	73
法人税等の支払額	41,508
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,230,563
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△5,111
その他	△1,185
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,297
現金及び現金同等物に係る換算差額	687
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,224,953
現金及び現金同等物の期首残高	3,856,224
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,081,178

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社は、ソーシャルコマース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。